

県本部保育集会

日時 6月15日(土) 10:00~
 会場 自治労会館
 内容 ・講演『幼児教育・保育をめぐる現状と課題』
 ・分科会

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部
 Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
 編集発行人 = 千歳益彦
 毎月5の日発行
 定価 = 1部5円(組合費に含む)
 印刷所 = コトブキ印刷株式会社



第25回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者

岸まきこ プロフィール

■略歴

- 1976年 北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ
- 1988年 北海道栗沢町立栗沢小学校卒業
- 1991年 北海道栗沢町立栗沢中学校卒業
- 1994年 北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)庶務係、議会事務局、振興課企画・合併対策担当
- 2004年 自治労北海道空知地方本部 女性部長
- 2006年 市町村合併により岩見沢市庶務課統計係
- 2007年 自治労北海道空知地方本部 書記次長
- 2008年 同 書記長
- 2010年 同 副執行委員長
- 2011年 岩見沢市企画財政部財政課管財係
自治労北海道空知地方本部 書記長
連合北海道空知地域協議会 副会長
- 2013年 自治労中央本部 法対労安局長
- 2015年 同 組織対策局長
- 2017年 自治労特別中央執行委員(組織対策担当)

岸まきこからのメッセージ

自治労茨城県本部のみなさん、こんにちは。私は、「あいはらくみこ」さんの後継として、今年7月に実施が予定されている参議院選挙全国比例区の自治労組織内候補予定者となりました「岸まきこ」と申します。

さて、大型連休が明け、6月26日が会期末の通常国会は後半戦に入りました。児童虐待防止法などの重要法案審議が予定されているものの、与野党の対決法案とは言い難く、与党は無風で参議院選挙に突入することをめざしています。

安倍政権においては、被災地を蔑ろにする発言をした桜田五輪相、道路整備をめぐる「村度」に言及した塚田国交副大臣が4月に更迭されたことは、政権のおごりと言わざるを得ません。しかし、改元を契機に安倍首相は憲法改正の機運を盛り上げ、前進を図ろうとしています。

来たる参議院選挙では、立憲主義と民意を軽視し、恣意的な政権運営を行う安倍政権の政治の流れに歯止めをかけ、「9条改憲勢力」を3分の2未満に抑えなければなりません。

私は、自治労の代表として「公共サービスの現場に合った政策の実現」と「組合員の暮らしを守る」ため、みなさんの声を国会に届けなければなりません。私の思い、名前を1人でも多くの組合員、家族へ伝え、みなさんのお力とご意見・ご要望を自治労に集め、私「岸まきこ」を育てていただけると幸いです。

ともに頑張りましょう!

2019年5月25日

立憲民主党参議院比例第13総支部長
 第25回参議院議員選挙
 自治労組織内候補予定者

岸まきこ

「岸まきこ」の支持広げよう

改憲NO、生活改善の政治を

自治労は、国民生活をないがしろにし、戦争法など、世論と反する法律を強行する安倍政権を終わらせるとともに、私たちがめざす「共生と連帯に基づく持続可能な社会」を実現するため、「岸まきこ」を自治労組織内候補予定者として第25回参議院選挙に総力を挙げて取り組んでいきます。

安倍政権は、国会での多数を背景に、憲法改憲に向けた動きを加速させています。5月3日の改憲派の集会で、「2020年に憲法改正を実行する気持ちは変わらない」と表明し、憲法に自衛隊を明記する加憲案で憲法改正をめざすことについて改めて言及しました。

仮に、7月の参議院選挙で改憲勢力が3分の2を維持した場合、安倍首相は、いよいよ憲法改正を強行しています。

さらに、欠陥機オーストラリアの配備や空母の建造、イージス・アショアや巡航ミサイルの導入など専守防衛を逸脱し、国民生活を犠牲に防衛予算を肥大化させながら、米軍と一体となって世界で戦争する国へと動きだしています。

原発問題でも、脱原発を選択する世論の圧倒的意図を無視し、再稼働に突き進んでいます。

労働法制の改悪や水道法改悪も忘れてはなりません。

一方、私たちの暮らしは一向に改善されないばかりか、消費税増税も控えています。「アベノミクス」と称した経済政策も、社会保障の削減、リスクの高い年金財源の株への投資など、国民生活への改善にはほど遠く、賃金の改善はもとより、医療、介護、保育など国民

生活と密接な暮らしも貧困率の拡大に見られるように貧困・格差は拡大しています。

安倍政権の暴走をこれ以上許してはなりません。



常陸大宮市で開かれた水郡ブロック活動者学校
 ブロック活動者学校第2回「時間外労働上限規制と自治体職場」

ブロック	日時	場所
県北	6月5日(水) PM 6:30~	北茨城市 防災コミュニティセンター
水郡	6月6日(木) PM 6:30~	那珂市役所総合福祉センター らぼーる
水戸	6月7日(金) PM 6:30~	自治労会館(水戸市)
鹿行	6月11日(火) PM 6:30~	神栖市中央公民館2階会議室1
土浦	6月12日(水) PM 6:30~	石岡市役所八郷総合支所 1階102会議室
県南	6月13日(木) PM 6:30~	県南自治労会館(牛久市)

講師は全国労働安全衛生研究会講師

政治活動の重要性学ぶ

ブロック活動者学校スタート

ブロック活動者学校が今期も5月14日の県北ブロックからスタートしました。第1回目は「私たちの生活・職場と政治に

ついて」と題して、藤森政治局長をはじめとする自治労中央本部の役員が県内の全ブロックで講演します。

講演では、自治体をめぐる情勢と参議院選挙に向けた取り組みの重要性が強調されました。

参院選 比例区も

比例区では政党ごとに個人名の得票が多い順に当選が決まります。

名前を記入しないと、当選させたい人が選べません。

投票を!

町村職が学習と交流

関東甲町村評交流集会

関東甲地連町村評交流集会が5月17、18日、山梨県笛吹市で開かれ8都県45人が参加しました。はじめに、川田町評議長が開会あいさつした

あと、「会計年度任用職員制度に向けた労使協議のポイントと組織化」と題して、自治労本部組織拡大オクルグの樋田順さんが講演。樋田さんは、会

計年度任用職員制度に関する参加者事前アンケートに基づき説明。「会計年度任用職員は、もはや臨時的・一時的・例外的な非正規職員ではなく、

今後正職員と共に一定のポリュームを持つて存続する『職員』でありま

れもなく同じ自治体で働く職員」と強調、組織化の重要性を訴えました。

続いて、「政策実現にむけての政治活動」をテーマに自治労本部町村評議会事務局長の豊福のみ子さんが講演。豊福さん

は、参院選に向けた自治労組織内候補の必要性と『岸まき』勝利に向けた支持拡大を訴えました。

講演後、参加者は分散会で単組の状況や組合の取り組みなどを交流した

あと、全体会で分散会報告や議長とめを確認。夜は地元のお土産を持ち寄り懇親会。自己紹介とお土産を披露しながら交流を深めました。



1都7県から45人が参加した関東甲町村評交流集会

山川菊栄さんで学習

第134回中央女性労働講座

県本部女性部は5月11日、自治労会館で第134回中央女性労働講座を開きました。

中央女性労働講座は1977年5月7日、女性自らが学習し女性の地位向上を職場で勝ち取って行こうということで始まり、第1回目は、「合理化

と婦人労働者」をテーマに故・川口武彦元九州大学教授が講演し、一泊二日で開催しました。

3回目の講座からテキストを使用したゼミ形式になり、最初のテキストは古典の「婦人論」(ペーベル著作)。当時、自治

労は人件費攻撃にさらされながらも、参議院比例区で東西に分け、山崎昇・佐藤三吾の両候補を当選させ反響を開始した

年でした。以降、ペーベルの「婦人論」を経て、1987年に山川菊栄さんの「婦人解放論集」を学習し、19

98年から3冊目の「女性解放思想史(水田玉枝著)を使用してきました。第100回目は2007年の9月19日でした。

今回から「幕末の水戸藩」の著作など、茨城にゆかりがあり、戦前から女性解放を唱え、戦後、初代労働省婦人少年局長となった山川菊栄さんの「評論集(鈴木裕子編)」

り込んでこそ、消費者個々の潜在意識に働きかけるダイレクト・マーケティングの効果は増していくものだから。

ジャパンタクシーには「前科」もある。同社は2018年11月までの数年間、配車アプリの利用客のスマートフォンから移動やネット通販での購買履歴等の情報を抜き取り、インターネット広告会社に提供していた。気づいたユーザーがSNS上で指摘し、炎上したので停止したとされるが、ジャパ

ンタクシーの親会社・日本交通は2017年頃、顔認証やGPSを活用した独自のタブレット広告システム「Tokyo Prime」を積極的にPRしていた。今回の行政指導は氷山の一角でしかないと思われ。

本欄では以前、乗客のツイッターに絶えず晒されるタクシー運転手さんは大変だ、と書いたことがある。見張られているのは客の側もだった。私たちはいったい何をしているのか。これは日本が生きてべき社会なのだろうか。

書記次長 作田 友貴
財政局長 鈴木 健太
組織部長 中川 勇紀
執行員 立野 啓司
今井 正人
板倉 祥子
鈴木 聡子
須藤 洋平
梅崎 修平
香川 晴子
杉本 道博
吉田 聖子
小林 悦代

執行委員長 倉島 孝夫
副委員長 海老原 範之
書記長 天津 巧
執行委員 敷島 大慈
執行委員 高橋 夏子
会計委員 宮田 俊明

取手市職員組合
執行委員長 印藤 智徳
副委員長 高橋 恭平
副委員長 星 芳宏
書記長 下市 聡

執行委員長 倉島 孝夫
副委員長 海老原 範之
書記長 天津 巧
執行委員 敷島 大慈
執行委員 高橋 夏子
会計委員 宮田 俊明

顔認証で脅かされるプライバシー

レジスタンスのすすめ

斎藤 貴男

国内最大のタクシー配車サービス会社・ジャパンタクシーが、国土交通省に行政指導を受けていたことがわかった。問題は、その中身である。

最近のタクシーは、助手席の背にあるタブレット端末に広告が流されていることが多い。同社はそこに顔認証付きのカメラを組み込み、乗客の性別を判断。広告を男女別に変えているのだが、事

前の説明が不十分なのが咎(とが)められた。本稿が読者の目に触れる頃には、タブレット上の説明の徹底など、改善策が発表される予定ではあるという。とはい

は、そんなことで済ませられてよい問題なのだろうか。

タブレットに何が書かれていようと、わざわざ読む乗客は稀(まれ)だろう。報道では性別を知

るための撮影だったように伝えられているものの、それが本当かどうかも怪しい。年齢の推定をはじめ、乗車した場所の位置情報その他、収集可能なデータをかき集め、訴求対象の属性を絞

り込んでこそ、消費者個々の潜在意識に働きかけるダイレクト・マーケティングの効果は増していくものだから。

ジャパンタクシーには「前科」もある。同社は2018年11月までの数年間、配車アプリの利用客のスマートフォンから移動やネット通販での購買履歴等の情報を抜き取り、インターネット広告会社に提供していた。気づいたユーザーがSNS上で指摘し、炎上したので停止したとされるが、ジャパ

ンタクシーの親会社・日本交通は2017年頃、顔認証やGPSを活用した独自のタブレット広告システム「Tokyo Prime」を積極的にPRしていた。今回の行政指導は氷山の一角でしかないと思われ。

本欄では以前、乗客のツイッターに絶えず晒されるタクシー運転手さんは大変だ、と書いたことがある。見張られているのは客の側もだった。私たちはいったい何をしているのか。これは日本が生きてべき社会なのだろうか。

各単組役員



- 取手市職員組合
- 執行委員長 印藤 智徳
- 副委員長 高橋 恭平
- 副委員長 星 芳宏
- 書記長 下市 聡
- 執行委員長 倉島 孝夫
- 副委員長 海老原 範之
- 書記長 天津 巧
- 執行委員 敷島 大慈
- 執行委員 高橋 夏子
- 会計委員 宮田 俊明
- 書記次長 作田 友貴
- 財政局長 鈴木 健太
- 組織部長 中川 勇紀
- 執行員 立野 啓司
- 今井 正人
- 板倉 祥子
- 鈴木 聡子
- 須藤 洋平
- 梅崎 修平
- 香川 晴子
- 杉本 道博
- 吉田 聖子
- 小林 悦代



中央女性労働講座でテキストを読み合わせする参加者

余裕資金は、退職後のために

ご存知ですか?

便利な掛金払込方法 **随時払**

(月払または半年払契約がある方が利用できます)

随時払は、月払などと異なり、不定期的に払い込むことができます。余裕資金ができたときに使える積立金を積み増しできる払込方法です。

大好評!

長期共済

例えば **100万円** を随時払すると **20年** で **124万円** に!

(10万円から1万円単位で利用できます。)

100万円 → 104万円 → 110万円 → 117万円 → 124万円

払い込み 5年 10年 15年 20年

効率的にプラス!

かしくく 積み立てよう!

ZENROSAI NEWS 5116G219

口数やコース、払込方法にかかわらず、積立金の一部分のみ、解約・払い戻しはできません。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

※2016年10月現在の予定利率等にもつき試算したものです。なお、予定利率等は将来変更することがありますので、将来の支払額を約束するものではありません。随時払は積立期間が1年未満のとき、積立金・解約返戻金を掛金を下回ります。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。